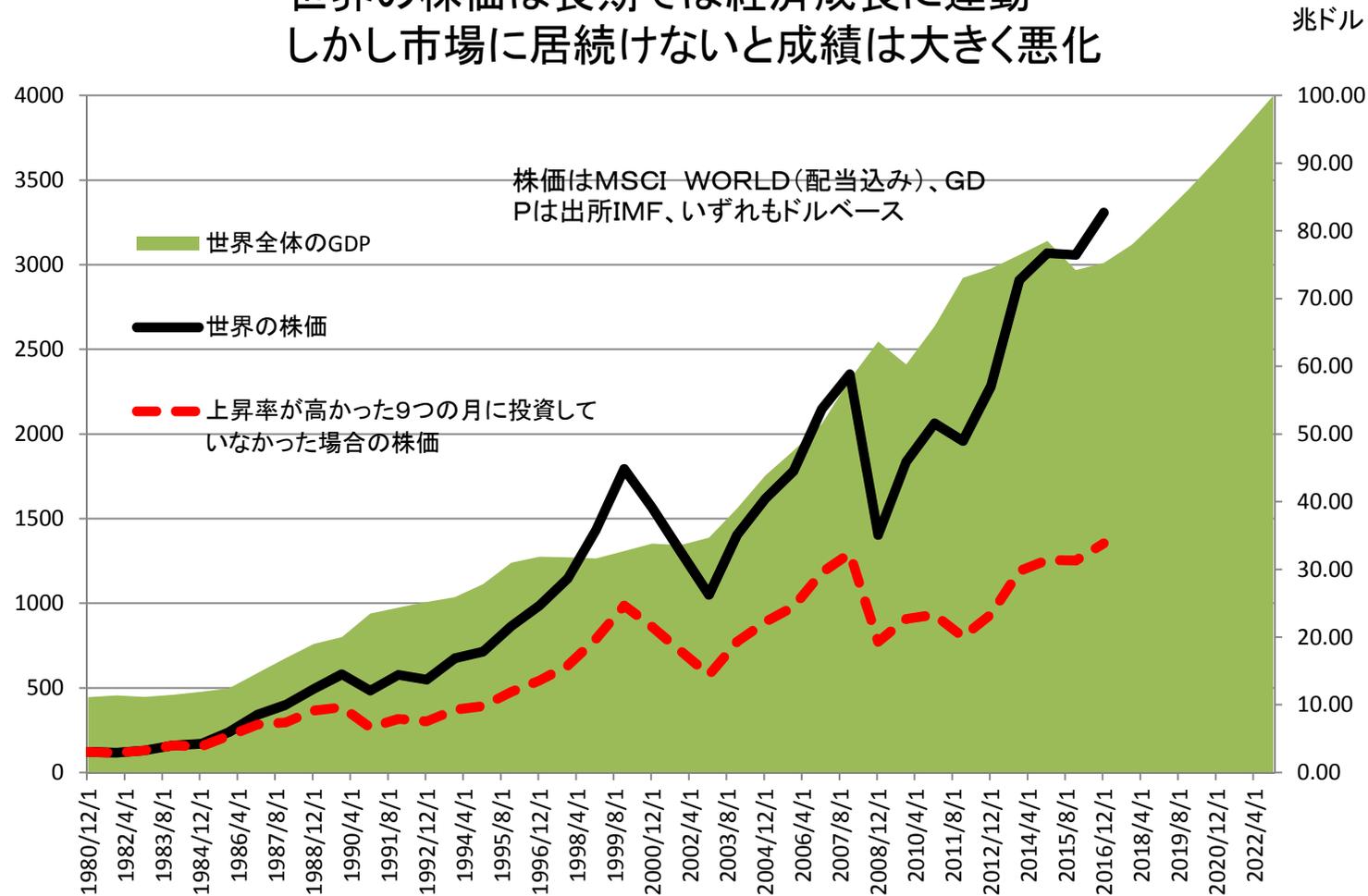
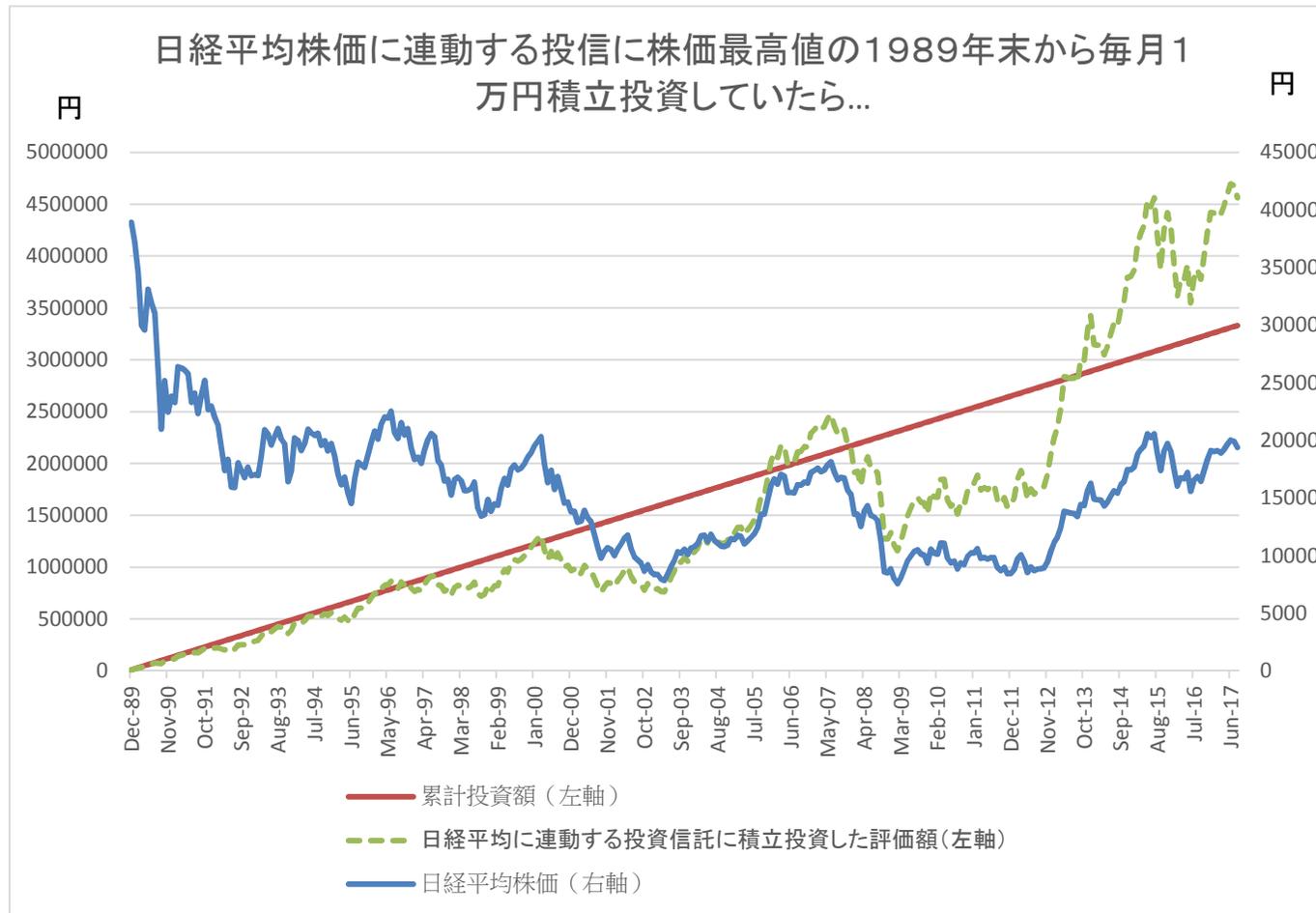


世界の株価は長期では経済成長に連動 しかし市場に居続けないと成績は大きく悪化



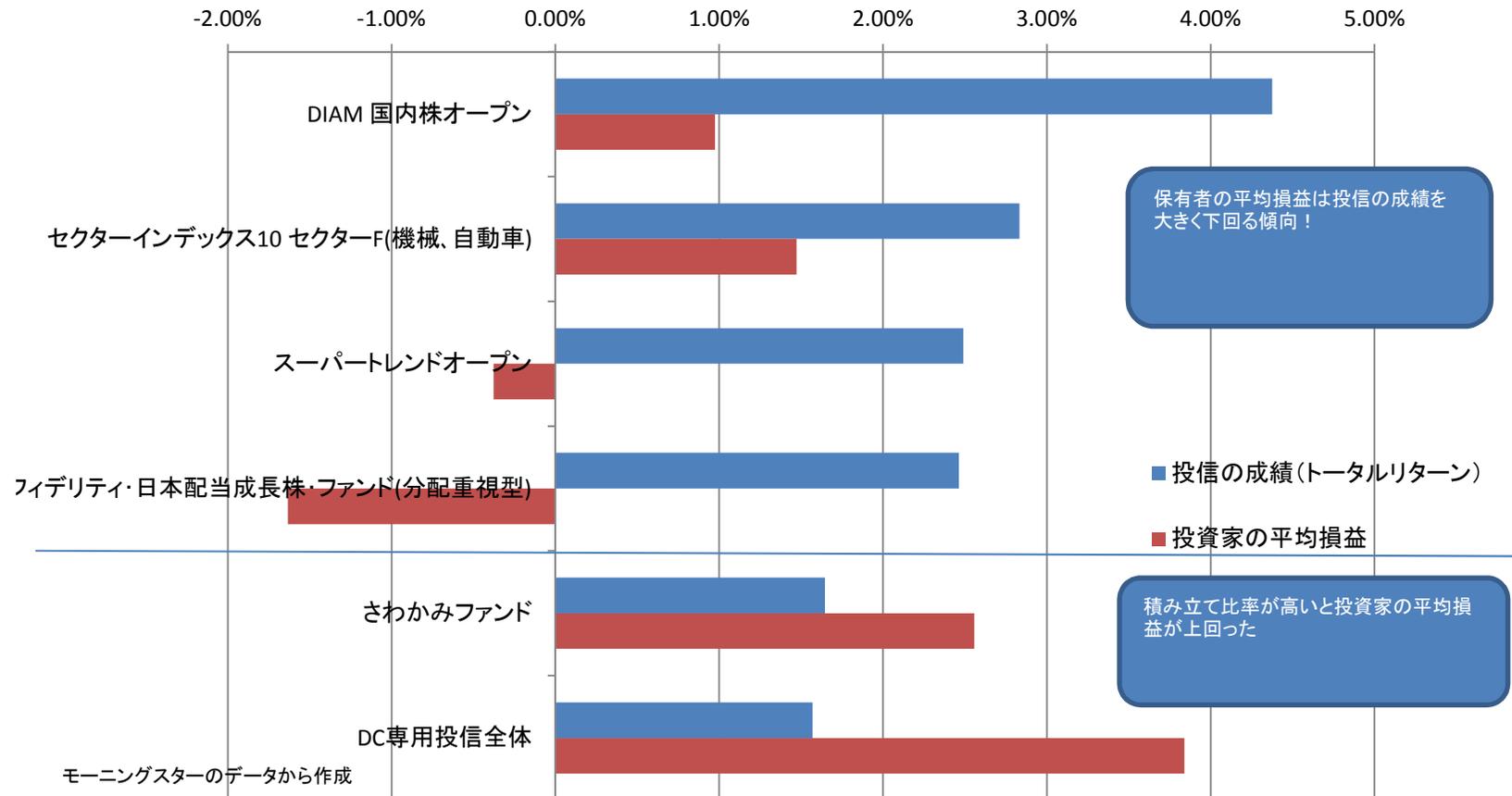
何がいつあがるか、必ずしもあてなくていい。世界全体は過去も成長し今後もたぶん成長する。世界全体の株価も長期上昇。その流れに乗ればいい。しかし37年間のうち上昇率の高かったわずか9つの月(全期間の2%)にもし投資していなければ、もうけは半分弱。市場に居続ける



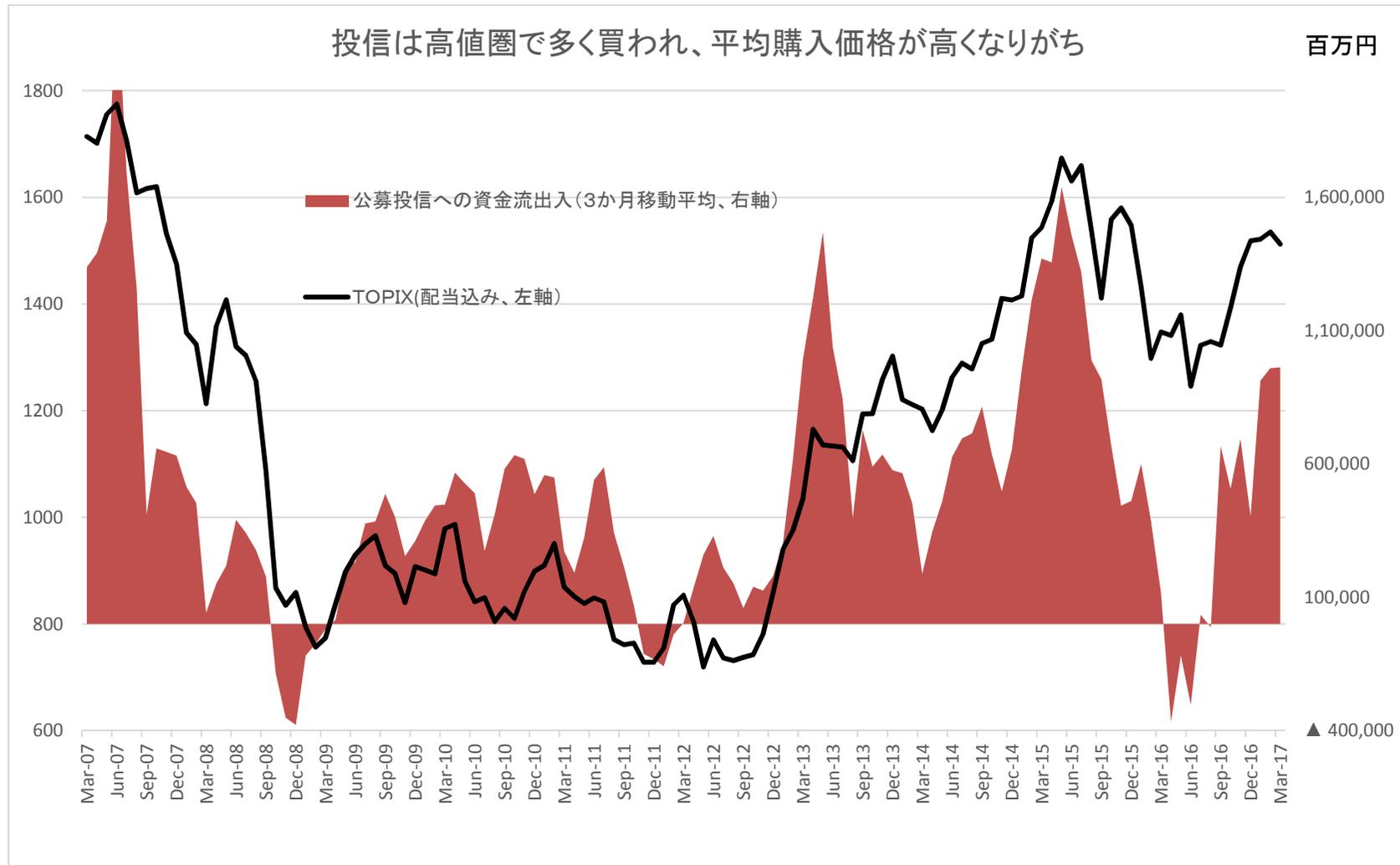
米景気の戦後の拡大期間は平均5年弱。今回はすでに9年目。数年のうちに景気後退・株価クラッシュがあるかも。しかし初期の株価下落は、つみたて投資なら逆にプラス。安く買えるチャンスだ！

投信の成績＝保有者の平均損益ではない！！

2017年3月まで10年間の日本株アクティブ型投信の成績上位4投信と、積み立て比率が高い投信の比較(すべて年率%)



過去10年で日本株値上がり率上位の投信(投信分類の大型ブレンド型で資産50億円以上)の保有者の平均損益(インベスター・リターン)は、投信の成績[トータルリターン)を大きく下回る。うまく売買しようとして、高く買い、安く売っている。つみたて比率の高い投信では、逆に平均損益が投信の成績を上回った



投信は株価の高値圏に多く買われ、本来買うべきである安値圏では買われな
いか売られる。積み立てならこうした間違いを起こさない